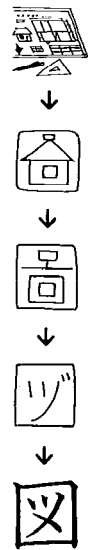


# 図

三年 7  
 筆順 冂 凵 凵 凵  
 オズ・ト  
 はか川る

成り立ち



もとの字は「圖」で、こめぐらのかたちをあらわした「高」と、四かくのかみのかたちをあらわした「口」とをくみあわせてつくった字。「こめぐらのせつけい図」をあらわした字です。

「せつけい図」「けいかく図」といういみの字ですが、「けいかくする(はかる)」といういみや、たんに「図」のいみにもつかわれます。

いまの字は、「口」の中に「讠」のある字ですが、これを「ヅ」とかんがえて、「かみ(口)の中にかかれた「ヅ」とみたらよいとおもいます。

使い方

▽ぼくは図工のじかんが大きいです。図画も大きですが、とくに工作が好きです。

▽はじめていく土地なので、図書館にいった地図をかりてしらべました。

熟語例

- ▽図工(図画と工作のこと。)
- ▽図画(図と絵のこと。また、図や絵をかくこと。)
- ▽図解(図によつて解説すること。文だけではわかりにくいばあい、絵をつかって説明すること。)
- ▽図示(図で示すこと。図にかいて示すこと。)
- ▽図表(図と表のこと。表は「かんたんなことばやすう字をつかってわかりやすく表したもの」のこと。)
- ▽図案(案は「かんがえ」。「もようのくふう」または「もようの下がき」といういみのことばですが、いまは「もよう」のいみにつかわれています。)
- ▽図書(図の本と文の本といういみのことばで、「本」をあらわしたことばです。「書物」のこと。)
- ▽地図(土地のようすをあらわした図。とくに、町やどらろやてつどうなどをあらわしてあります。)

# 数

三年 13  
 筆順 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一  
 オン スウ・ス  
 かず・かぞへえる

成り立ち



「女」と「米」と、手にもものをもったかたちをあらわした「女」とをくみあわせてつくった字です。

「女の人」が、「ごはんをつくるため」「斗ます」「科(年90)「参照」をもつて米を「はかる」こと」をあらわしたものです。「一つ、二つ…」といて「かず」を「かぞえて「はかる」」ので、「かず」「かぞえる」といういみをあらわしました。

「本字は「數」で、髪を高く結び上げた女性を表した「妻」と「女」との会意・形声字である。妻が髪を幾重にも重ねてあるところから、「重ねる」「数多い」の意味に用いられ、「かず」の意味になったものである。」

使い方

▽わたしのクラスでは男の子の人数が女の子の人数よりおおいいます。

▽このまえより点数がよくなりました。

▽あとと数日したら、花がさくでしょう。

熟語例

- ▽人数(人の数)
- ▽多数(数が多いこと。①「少数」)
- ▽日数(日数。日数の数)
- ▽数日(三日か四日)また「五日か六日」といういみにつかわれます。また「なん日か」といういみ)
- ▽数年(三年か四年)また「五年か六年」といういみにつかわれます。また「なん年か」といういみ)
- ▽数人(三人か四人)また「五人か六人」といういみにつかわれます。また「なんんか」といういみ)
- ▽無数(数が無い)という字ですが、じつは「数がおおすぎて数えきれない」ことです。「数えきれないほど」
- ▽奇数(一三五七九のように二つにわけられない数)